

フレンドリーハンドシェイクについて

今年度より、「関西学生バスケットボール選手権大会」、「関西学生バスケットボール新人戦 関西予選」「関西学生バスケットボールリーグ戦」、において『フレンドリーハンドシェイク』を実施致します。この企画はインカレにおいて実施されております。

「フレンドリーハンドシェイク」は、試合終了後にオフィシャル席の前で、選手同士がハイタッチもしくは握手などを行うことで、互いの健闘を称え合い尊重し合うという目的を持ちます。また、この光景を見ることにより、試合を観戦して頂いたお客様も胸を打たれることと思います。

具体的な内容は、試合終了の挨拶が終わった後、試合に出場していた 5 人の選手が相手ベンチに向かって進みます。選手同士がすれ違う際にハイタッチもしくは握手を行ってもらいます。出場していた 5 人の選手に続きベンチにいる選手達がフレンドリーハンドシェイクに向かいます。

両チームのベンチスタッフは、試合終了後に、オフィシャル席前にて握手し挨拶をおこないます。その後、フレンドリーハンドシェイクを終えた対戦相手の選手が、自陣のベンチ前にてベンチスタッフに挨拶を行いますので、ベンチスタッフはスタッフ同士の挨拶後、すぐに自チームのベンチに戻って頂きます。

尚、次に試合があるチームは、前の試合の「フレンドリーハンドシェイク」最中にコートに立ち入らないようお願い致します。

この活動は関西学連が主催する文頭に記載した大会の全試合にて実施致します。スポーツマンとして試合終了後の挨拶をしっかりするようご協力お願い致します。